

大東民報

議会版

日本共産党
大東市議会議員団
大東市谷川1丁目1-1
TEL 072-871-5588



市議員
まさひろ
まさひろ

・090-8939-5743



市議員
つとむ
つとむ

・090-3864-5037



市議員
かつこ
かつこ

・090-1079-8939

法律相談

12月3日(月)
夜 7時
市民会館
予約制です
TEL 871-5588 まで

12月議会提出議案 新たに「指定管理者」導入が6施設 (キッズプラザ、南郷子育て支援センター、中央図書館、総合文化センター、駐輪場2箇所)

12月議会提出議案で公共施設の管理運営を民間に委ねる「指定管理者制度」の導入が新たに6施設になることが明らかになりました。

今回、更新となるのが「キッズプラザ」(幸町の保健所跡地に設置されている子育て支援施設)です。また新規に指定するのが「南郷子育て支援センター」「中央図書館・西部図書館・まなび南郷」「総合文化センター(サーティホール)」「市立自転車駐輪場(二箇所)」です。西部図書館は、すでに洋書の「丸善」に委託されており、今回サーティホール内にある中央図書館と西部図書館内に併設されている生涯学習施設「まなび南郷」を含めて一括で指定管理者となります。

大東市では、これまでに「市民会館」「自転車駐輪場(五箇所)」「生涯学習セン

ター(アクロス)」「市立体育館」「龍間運動広場」「市立テニスコート」「西部図書館」「まなび南郷(生涯学習施設)」の8施設が指定管理者に移行しています。

来年四月から乳幼児医療費の年齢を五歳未満から就学前(6歳未満)まで拡大

来年四月から「乳幼児医療費」の年齢を現在の五歳未満から一歳引き上げ、就学前まで広げる条例改正が12月議会に提案されます。

これは日本共産党議員団も要望していたことで、市民から歓迎されています。



小学校の教室にエアコンが設置されます(来年から)

九月議会で全会派一致で要望決議が採択された小学校教室へのエアコン設置の予算化が、十年間リース料約十億円が「債務負担行為」として12月議会に提案されています。これは日本共産党が要望してきたもので、関係者から喜ばれています。

12月議会の日程

- ・3日 本会議(開会日)
- ・5～6日 いきいき委員会
- ・7日、10日 まちづくり委員会
- ・19～21日 本会議(一般質問)

人権推進部を解体

今議会に「人権推進部」の解体を内容とする機構改革に伴う条例改正案が提出されています。これは、日本共産党をはじめとする市議会の批判を受けて「人権推進部」を解体するもので、一歩前進ですが、市民生活部、生涯学習部、政策推進部の三部門に分解してそれぞれの機能が移ります。ですから完全になくなるわけではなく、不十分なものです。

同和住宅家賃の長期滞納者を裁判へ

市は、日本共産党など議会の追及で、それまで事実上、放置してきた家賃の長期滞納者への対応を強め、五〇ヶ月以上の滞納者に督促を出し、それでも応じない者十人を裁判に訴え、明け渡しを請求しています。今回、これに加えて三十ヶ月以上の分(八件を予定)も明け渡し裁判をする方向です。

公共用地特別委が同和地区内の残地を一つ一つ検討

同特別委は、旧同和地区内に残された道路用地などの名目で購入した土地を市開発公社が現在も保有しており、金利負担が馬鹿になりません。同委では行政に一筆つつ現状を報告させ、委員会として処分方向をまとめる予定です。

「07 農業まつり」が末広公園で開催



はじめて末広公園で開催された「農業まつり」

11月25日(日)、J A東部主催の「農業まつり」が今年も盛大に行われ、多数の市民が新鮮な野菜を行列をつくって買っていました。従来は、大東公園で開催されており、末広公園で開催されるのは今年が初めてです。

農産物の自給率を高めよう！

日本の農産物自給率は、アメリカなど海外からの農産物輸入自由化政策でいまや四〇%を割り込む激減で、日本の農家は危機的状況に追いやられています。日本共産党は農産物輸入自由化に反対し、価格保障をとよびかけています。

また地場産農産物を学校給食で使うことや都市農業の育成を打ち出しています。こうしたなかで開かれる「農業まつり」は大変、意義ある取り組みです。

谷川中学校創立30周年記念式典に古崎議員が出席

18日(日)、谷中30周年記念式典が同校体育館で行われ、古崎議員をはじめ多数の来賓と生徒も参加、同校卒業生の記念講演が行われました。



国民救援会大東四條畷支部が第4回大会を開催



18日(日)、大東市民会館で同支部の第四回大会が開催され、府本部から藤岡事務局長、日本共産党議員団から古崎・豊芦両議員らが来賓として出席しました。

唐沢岩夫会長は開会挨拶で「今年には国民救援会が結成されて八〇周年に当たる年だ。弾圧との闘いを強化しよう」と呼びかけました。 佃事務局長は報告で「大阪地裁裁判長への暴行容疑で逮捕された青年がえん罪である『おやし狩り事件』や党市議が不当逮捕された『大石事件』など、えん罪事件が多発しているなかで、救援会として支援していく必要性を強調。終了後、参加者は昼食をかねた懇談を行いました。」

京橋共同法律事務所の「日帰り旅行」に党議員団が参加



(バスの中で挨拶する戸谷茂樹弁護士)

23日(祭)、秋晴れの好天の下、党議員団が月一回の法律相談でお世話になっている京橋共同法律事務所「友の会」主催の日帰り旅行が行われ、党議員団から古崎・豊芦両議員が参加しました。このほか大東から唐沢岩夫・橋田正美両世話人、守口・門真市議団も参加しました。一行は和歌山県・かつらぎ市でみかん狩りをした後、「蔵の湯」温泉に浸かり、カラオケなどに興じました。